

記入例は、○博士論文及び研究作品【第5条(1)イ】、○ティーチングアシスタント【第5条(6)イ】、○コンペで入賞【第5条(4)イ】○個展を開催【第5条(4)ロ】の4つの業績を申請するケースです。

業績の評価区分及び評価点（申請のあった各業績を総合して評価してください）

特に優れた業績	優れた業績	良好な業績
100点～90点	89点～80点	79点～70点

※大学記入欄

⇒

※各科評価	※研究科評価	※学生支援室評価	※選考委員会評価
(総合評価 点) 人中 位	(総合評価 点) 人中 位	(総合評価 点) 人中 位	(総合評価 点) 人中 位

業績評価書

[以下は申請者が記入]

平成31年 2月 ○日

東京藝術大学長 殿

このたび、私の業績について下記のとおり申請しますので評価方よろしくお願いたします。

美術・音楽・映像・国際（修士・博士） ○ ○ 専攻 ○年 氏名 ○ ○ ○ ○
 (学生番号 ○○○○○○○) [電話]○○○(○○○)○○○○ [携帯]○○○(○○○)○○○○
 指導教員名： ○ ○ ○ ○ 先生

申請業績の題目・その1

※この欄は、申請者が申請業績1件ごとに（同シリーズ、同テーマの場合、まとめて1件）記入してください。（以下同）

博士論文 及び 研究作品
 研究作品は○○賞を受賞した

申請する業績が複数ある場合は、
 重要度が高い順に記入。

- 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→ (イ) 学内（正課）活動に関する業績 (ロ) 学外（正課外）活動に関する業績
- 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（1）イ

記入例→「博士論文」であれば「第5条（1）イ」と記入（以下も同様に記入のこと）

※申請業績の題目に関連（添付）するそれぞれの資料は全てコピー（普通紙にコピーのこと。印画紙不可。作品であっても、あくまでも業績資料ですので、スナップ程度の作品写真でも、会場写真でも構いません）とし、A4サイズ（縮小可）に揃えて提出してください。また、資料はホッチキス止、クリップ止は不可です。（資料が複数の場合でも、ホッチキス止、クリップ止はせず、資料番号・タイトル・通し番号（ページ数）を入れて提出してください）以下同

申請業績の題目・その2

(イ) 学内、(ロ) 学外、どちらでの業績か、該当を○で囲むこと。

○○主催 2017年 ○○○○コンクールにて優秀賞（または第○位）に入賞

- 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→ (イ) 学内（正課）活動に関する業績 (ロ) 学外（正課外）活動に関する業績
- 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（4）イ

「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」第5条のどの項目に該当する業績か、記入すること。
 ※業績内容は「申請要領」3～5頁または7～8頁を参照

申請業績の題目・その3

平成〇年〇月〇日～〇日まで、〇〇画廊にて個展を開催
展覧会タイトル：「〇〇〇〇〇〇」

『月刊〇〇〇』（平成〇年〇月号）掲載の記事で、高い評価を受けた

1. 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→（イ）学内（正課）活動に関する業績 学外（正課外）活動に関する業績
2. 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ 4 ）

申請業績の題目・その4

ティーチングアシスタント（業務期間：平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月）
特に〇〇〇〇（具体的事項）の点で研究室の運営に貢献した。

1. 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→ 学内（正課）活動に関する業績 学外（正課外）活動に関する業績
2. 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ 6 ）

申請業績の題目・その5

1. 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→（イ）学内（正課）活動に関する業績 学外（正課外）活動に関する業績
2. 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ ）

申請業績の題目・その6

1. 業績の該当評価項目（いずれかに○印）→（イ）学内（正課）活動に関する業績 学外（正課外）活動に関する業績
2. 業績の評価項目（申請の説明書に記載の「東京藝術大学返還免除奨学生選考基準」での該当項目を記入のこと）

該当項目：第5条（ ）